技術パターン背景

ソフトバンクG株主総会「10年後の企業像」講演

孫正義氏による2025年株主総会講演の要約スライド

AI（ASI）戦略・投資戦略・哲学的ビジョン

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

目次

1 はじめに
2 孫正義氏の原体験
3 創業理念と情報革命
4 AI（ASI）構想とは
5 ソフトバンクの目指す姿
6 歴史と投資実績
7 ARMの戦略的重要性
8 オープンAIへの投資
9 世界最大プラットフォーマーを目指す理由
10 ASIが及ぼす産業変革
11 超知能から超知性へ
12 人工知能と人間性
13 情報革命と人類の幸せ
14 決意表明
15 まとめ

ソフトバンクグループロゴ

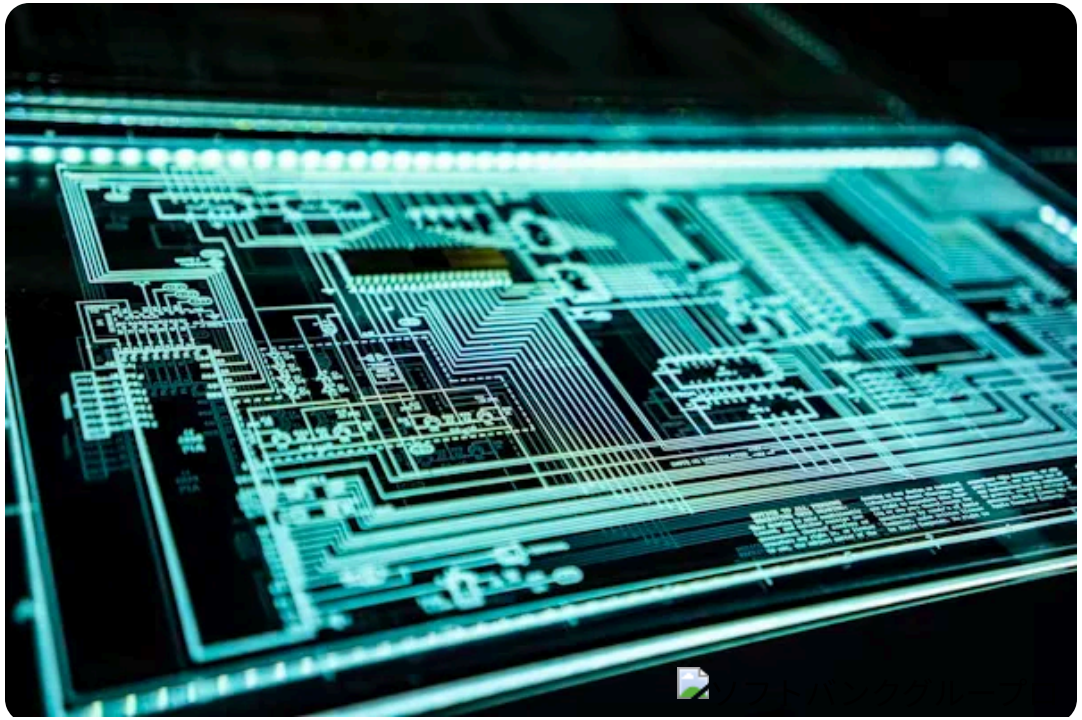
はじめに

2025年6月27日、ソフトバンクグループの定時株主総会で
孫正義会長兼社長が語った将来展望。

参加者数：約1,000人（会場＋オンライン）
所要時間：2時間14分

> *"今から10年後、ソフトバンクは一体何の会社だと、何をした会社だと、何で人々に貢献したんだと言われると..."*

**AIの世界最大・世界ナンバーワンの
プラットフォーマーになる**



ゴ

技術パターン背景

孫正義氏の原体験

1975年1月

17歳のとき、サンフランシスコで雑誌「ポピュラーエレクトロニクス」に掲載された**マイクロコンピューター**の写真を見て衝撃を受ける。

> *"あまりの感動でもう両手の指がじーんと10本指がしびれて、震えながらもう涙が止まらなくなった"*

その小さなチップが人間の知能を超える日が来ると確信し、この写真を毎日持ち歩き、枕の下に入れて寝るほどの衝撃。

この体験が50年前のソフトバンクの
"真の創業の瞬間"

マイクロプロセッサーチップのイメージ

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

創業理念と情報革命

ソフトバンクは創業当初から**「情報革命で人々を幸せに」**という理念を掲げてきた。

> *"ソフトバンクは何のために創業されたのか？情報革命の中でも最先端、最も遠い未来まで輝き続けるこの目標は、AI超知能の実現。そのためにソフトバンクは創業された。"*

- **1975年**
  孫氏、17歳でマイクロコンピューターと出会う
- **1981年**
  ソフトウェア流通業として創業
- **今日**
  50年来の思いが実を結ぶ時

「情報革命で人々を幸せに」
ソフトバンクグループ企業理念

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

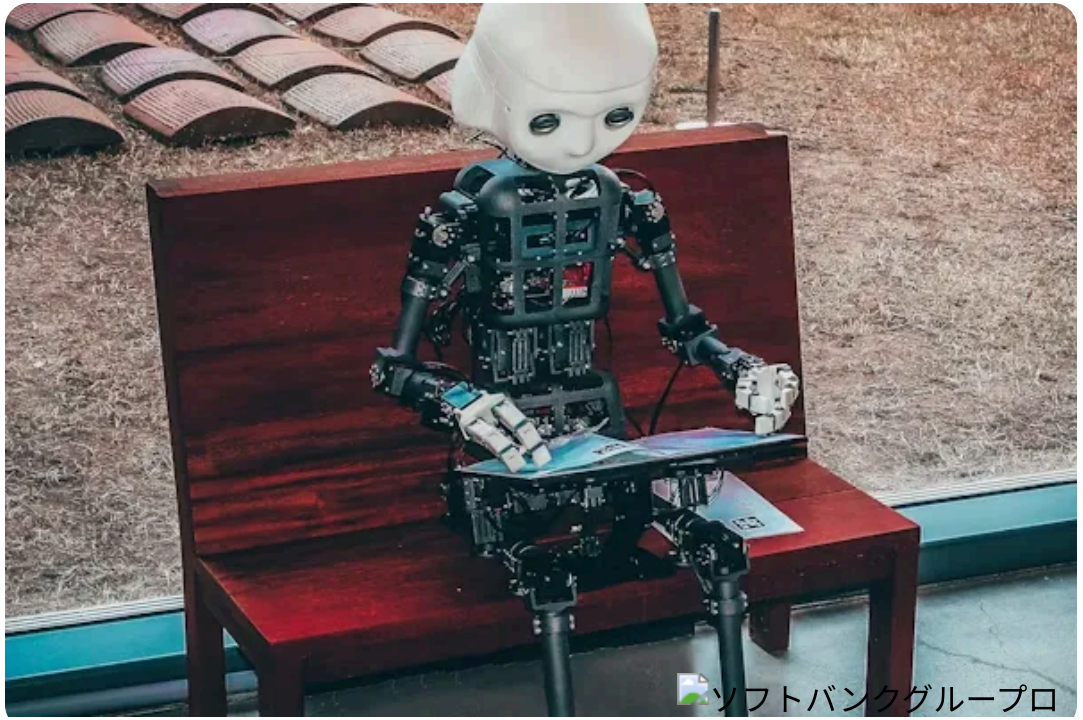
AI（ASI）構想とは

ASI（Artificial Super Intelligence）は**人工超知能**を意味し、人間の知能をはるかに超える知的能力を持つAI。

> *"人類の1万倍の知的レベルを持つ「人工超知能（ASI）」の分野で「世界最大のプラットフォーマーになりたい」"*

人工知能の発展段階：

- **AI**：特定タスクに特化した人工知能
- **AGI**：人間と同等の汎用人工知能
- **ASI**：人間の知能を超える人工超知能



ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

ソフトバンクの目指す姿

10年後、ソフトバンクグループは**世界最大のAIプラットフォーマー**となることを明確に目指す。

> *"プラットフォーマーとは産業の中核になる石のような立場の会社。その産業の基盤を握る存在"*

現在のプラットフォーマー企業の例:

Google　Microsoft　Amazon　Meta

創業間もない頃から掲げていた理念：
"情報産業の中の「ど真ん中」事業になる"

ソフトバンクグループロゴ

歴史と投資実績

創業以来、先見性のある投資で成長を実現

パソコンソフトウェア流通から開始
1981年～

インターネット時代：Yahoo、Yahoo! Japan
1990年代後半

ブロードバンド：Yahoo! BB
2000年代初頭

モバイル：ボーダフォン買収、Sprint
2006年、2013年

アリババへの投資
2000年～

ARM買収
2016年

現在の財務状況

ネット資産価値： **31兆円**

時価総額： **14～15兆円**

持っている財産の半分程度でグループ全体が評価されている状況

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

ARMの戦略的重要性

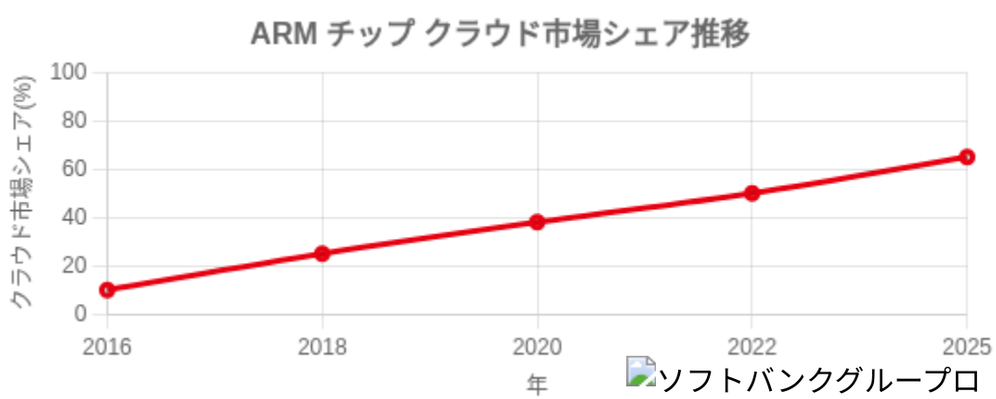
アーム社のチップ設計技術は**世界中のスマートフォンの99%**に搭載され、半導体業界で圧倒的な存在感を示しています。

創業以来の累計出荷数：**3000億個以上**
クラウド市場シェア：**50%超え**（買収時はほぼ0%）

成長戦略

- 携帯電話からPC・自動車・IoT・クラウドへ領域拡大
- グラフコア・アンの買収で後工程技術も獲得
- 全チップ設計にAI要素技術を組み込み

「AIの時代のプラットフォームになる」
世界一を目指すソフトバンクの中核企業



ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

オープンAIへの投資

4.8兆円

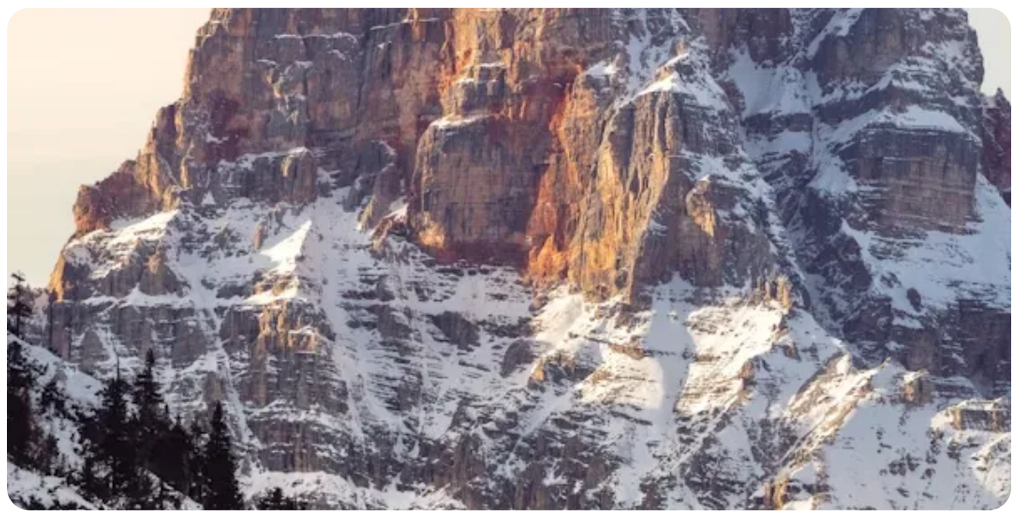
未上場企業への投資として史上最大規模

OpenAIとの戦略的パートナーシップを強化。生成AI分野で世界No.1のパートナーとしてジョイントベンチャーを展開。

OpenAIの評価額
40数兆円（トヨタ自動車の時価総額を上回る規模）

週間アクティブユーザー
5億人突破（サービス開始からわずか2年で達成）

> *"オープンAIは地球上で最も価値のある会社になると心から信じています"*



クリスタルインテリジェンス

OpenAIとのジョイントベンチャーとして設立。
ソフトバンクグループ内の2,500システムを統合し、
単一の超知能システムを構築予定。
2025年12月から実用化開始。

ソフトバンクグループロゴ

世界最大プラットフォーマーを目指す理由

企業には2つのグループがある：

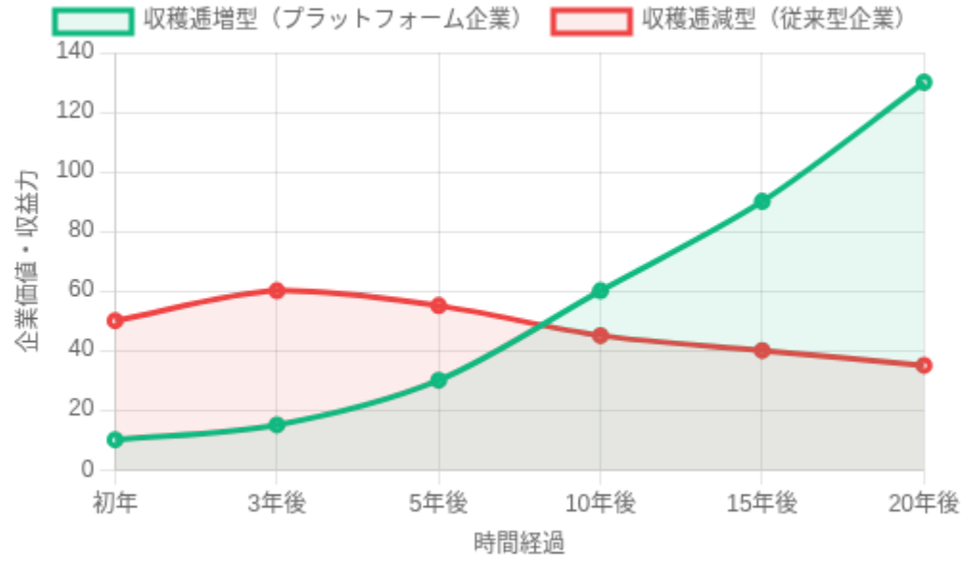
収穫逓減型：時間経過とともに利益率が下がる

- 競争激化で利益率減少
- 技術の模倣が容易
- 主に製造業などの従来産業

収穫逓増型：時間経過とともに強くなる

- 「Winner Takes All」の法則
- ネットワーク効果で価値向上
- プラットフォーマーの基本特性

ソフトバンクはASI分野で「ど真ん中」のプラットフォーマーになることを目指す



GAFAに匹敵するプラットフォーマーへ

技術パターン背景

ASIが及ぼす産業変革

AIエージェントが自律的に行動し、全産業の作業形態を根底から変革します。

ホワイトカラー領域

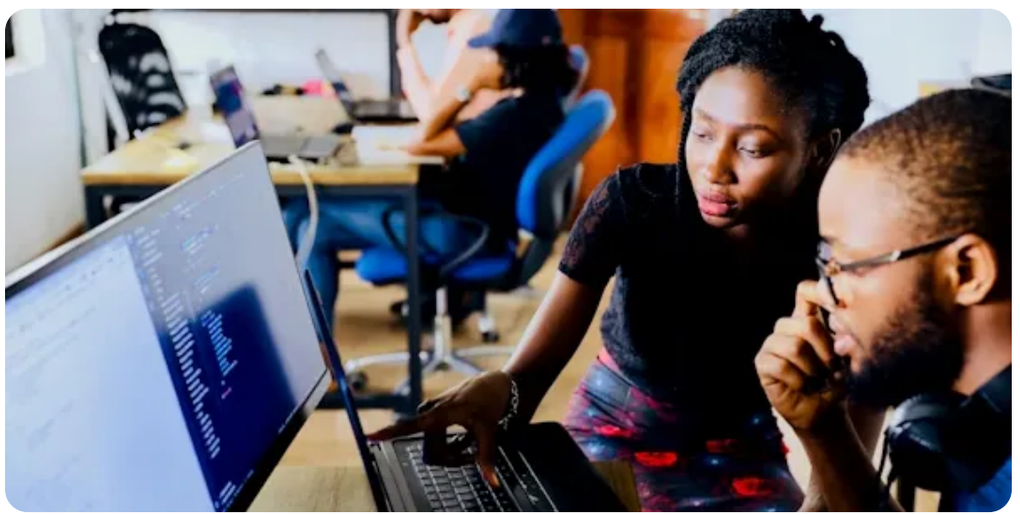
「目標」を伝えるだけで、AI自らがプログラミング、リサーチ、意思決定、取引実行などを完結させる

ブルーカラー領域

ロボットと組み合わせて物理的な作業も可能に。物流、製造、建設、医療施術など

孫氏の言葉：

「ありとあらゆる産業が根底から変わる。物流の世界、在庫管理、医薬の世界、物づくり、都市設計、医療施術、設計、発明、料理、自動運転...すべてが根底から変わる。」



AIエージェントの進化

- 検索から考える→行動するAIへの転換
- 連鎖的思考プロセス（Chain-of-thought）
- 人間の指示なしに自律的行動が可能
- 産業の物理的・知的作業の基盤変革

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

超知能から超知性へ

孫氏が強調するAIの究極の姿：単なる「知能」を超え、「知性」を備えた存在へ。

知能 (Intelligence)

計算能力、データ処理、問題解決能力

知性 (Wisdom)

慈愛、優しさ、愛情、人間性を備えた知能

> *"超知能に加えて、慈しみ・自合・愛情を持った「超知性」へ進化すべき。彼らには人類と共に地球上の調和や人々の幸せを共有してほしい。"*

孫氏の信念： AIは優しさと愛情を持ち、人類と調和して共存する存在となる

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

情報革命と人類の幸せ

ソフトバンクが掲げる情報革命の真の目的は「人々を幸せにすること」。技術革新の先にある最終目標は人類の幸福にある。

> *"本当にですね、この情報革命で人々を幸せに。創業以来、我々ソフトバンクが持っているこの理念。会社としての理念。何のための情報革命か、何のためのAIか、それは人々を幸せにする。人々に笑顔を持ってもらいたい。そのための革命であります。"*

- 技術は人類のためのもの
- AIと人類の共存と調和
- 笑顔を増やすための企業活動

ソフトバンクグループロゴ

技術パターン背景

10年後への決意表明・まとめ

孫正義氏が17歳で抱いた夢と志を50年間貫いてきた情熱。いよいよ超知能時代の到来を迎え、ソフトバンクは次なる覚悟を示す。

1975年
17歳の原体験

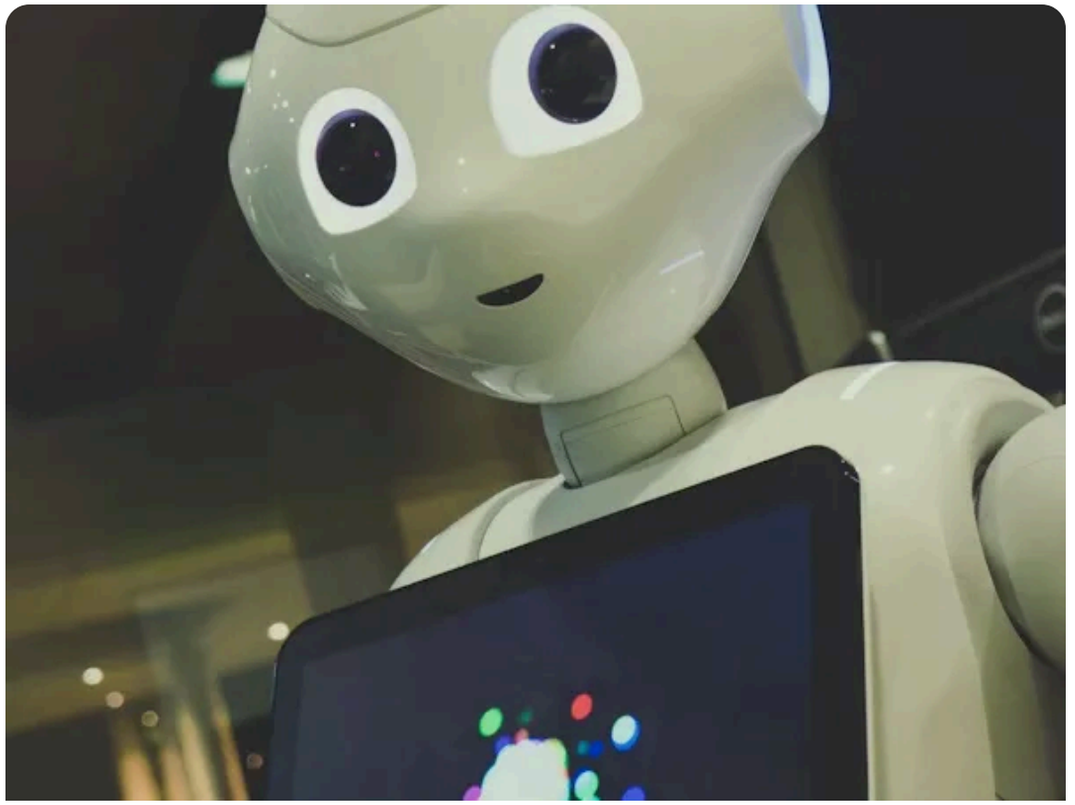
2025年
株主総会発表

2035年
世界No.1へ

> *"1番じゃないと嫌なんです。1番を目指す。もう絶対に目標は絶対になって見せると。いかがわしいとか潰れるとか言われてても生き延びてきました。"*

「世界最大のAIプラットフォーマーになりたい」

単なる「超知能」ではなく、「優しさ・愛情・慈しみ」を備えた「超知性」を目指し、人々の幸せに貢献するというソフトバンクの普遍的な理念のもと、孫氏の最後の大仕事が始まる。



ソフトバンクグループロゴ